

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[5] コバルト及びその化合物 (コバルトとして)	<p><b>【水質】</b></p> <p>「平成22年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	分析原理：ICP-MS 検出下限値： <b>【水質】</b> (ng/L) [5] 4.8 分析条件： 機器 ICP-MS：Agilent 7500x 他
[6] 1,3-ジクロロ-2-プロパノール	<p><b>【大気】</b></p> <p>注1) 捕集流量を1.0L/分とした例があった。            注2) 濃縮を0.5mL未満とし、定容量を0.5mLとした例があった。</p> <p>「平成22年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	分析原理：GC/MS-SIM-EI 検出下限値： <b>【大気】</b> (ng/m <sup>3</sup> ) [6] 0.80 分析条件： 機器 GC: Agilent 6890N MS: Agilent 5975B 又は GC: Agilent 6890N MS: JEOL JMS-K9 他 カラム ZB-WAX 30m×0.25mm, 0.25μm、 DB-WAX 30m×0.25mm, 0.25μm 又は SUPELCOWAX 10 30m×0.25mm, 0.25μm
[7] 1,2,4,5-テトラクロロベンゼン	<p><b>【水質】</b></p> <p>「平成22年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	分析原理：GC/MS-SIM-EI 検出下限値： <b>【水質】</b> (ng/L) [7] 12 分析条件： 機器 GC：Agilent 6890N MS：JEOL JMS-K9 又は GC：Agilent 6890 MS：Agilent 5973 他 カラム DB-17ms 30m×0.32mm、0.25μm